



地域がん診療連携拠点病院 <川崎市立井田病院からのお知らせ>



第54号 井田山



基本理念 「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。」

発行責任者 神山 隆 編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会
川崎市中原区井田2-27-1 電話 044-766-2188 (代)
ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/index.html>



土曜日検診（がん検診）を開始します

井田病院は、“地域がん診療連携拠点病院”として地域の中で質の高いがん医療を提供することができるよう、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援及び情報提供等を行っています。

このような病院の持つ強みを活かし、本市が積極的に推進している市民のがん検診の受診率向上に向けた取組の一助となるよう土曜日のがん検診事業を実施いたします。

◆実施日

平成27年11月21日、12月12日
平成28年1月16日、2月20日、3月19日
検診時間：午前中
(平成28年度以降も継続実施予定)

◆料金

- (1) 川崎市がん検診対象者
(40歳以上の川崎市民) 4,600円(自己負担)
- (2) (1)以外の方 23,260円(税込)
- (3) オプション検査

胸部CT検査	18,900円(税込)
ピロリ菌検査	5,980円(税込)

◆検診内容

「胃がん検診（上部内視鏡検査）」「大腸がん検診（便潜血検査）」「肺がん検診（X線検査）」をセット（一式）で実施します。その他にオプション検査として、胸部CT検査、ピロリ菌検査も受診可能です。

◆申込方法・申込先

受診希望日の2週間前までに、電話又は窓口、がん検診担当へお申込ください。
月～金曜日（平日）窓口 8:30～15:00
電話 13:00～16:00 044-766-2188（代表）



アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査《割引中》 (1回の採血で、複数のがんの可能性を評価する検査です。)

井田病院では、人間ドック及びがんドックのオプションとしてアミノインデックスがんリスクスクリーニング検査を行っております。この検査が、神奈川県の未病産業の育成に拠出する事業に採択されました。

これにより、当該検査を受診される際、簡単なアンケートにお答えいただくと、検査料金が割引されます。

割引の期限及び対象は、**平成27年12月28日まで**に人間ドック及びがんドックのオプションとしてアミノインデックスがんリスクスクリーニング検査を受けた場合となります。

詳細は当院ホームページでご確認されるか、井田病院地域医療部にお問い合わせください。

のど(咽頭・喉頭)・食道・胃の癌の早期発見のために

のど(咽頭・喉頭)と食道の癌の危険因子

のど(咽頭・喉頭)と食道の癌では飲酒と喫煙が最も重要な発癌リスクです。お酒(エチルアルコール)は体内においてアルコール脱水素酵素(ADH)によりアセトアルデヒドに分解され、さらにアセトアルデヒド脱水素酵素(ALDH)により最終的に酢酸に分解されます。国際がん研究機関(IARC)では様々な化学物質/放射線/ウイルス/細菌などの人に対する発がんの強さを評価していますが、アセトアルデヒドは「グループ 1: 発がん性がある」と認定されている物質です。酒に強い弱いADHとALDHの働く力(活性)によりますが、飲酒時に良く見られる顔が赤くなる、動悸がするなどの症状は特にアセトアルデヒドが原因であることが分かっています。

ALDHには強い活性型と弱い活性型、活性の無い型の3種類があり、日本人の50%は強い活性型、43%は弱い活性型、7%は活性の無い型に分かれます。

お酒を飲んでアルコールがどんどん分解されても、強い活性型の方は体内にアセトアルデヒドは貯まりませんが、弱い活性型の方はある程度お酒が飲めるのですがアセトアルデヒドが分解されにくい体ため体内に発癌物質であるアセトアルデヒドが貯まるようになります。このような人は飲酒時にいつも顔が赤くなる人や、若い頃には酒が飲めずすぐ赤くなったが、長く飲酒するにつれてたくさん飲めるようになり赤くならなくなった人として認識できます。

このような人が喫煙を行いながら飲酒を長期続けると、のど(咽頭・喉頭)や食道の癌を高率に発生することが知られています。次表にのど(咽頭・喉頭)と食道の発癌危険因子をあげます。

のど(咽頭・喉頭)と食道の癌の危険因子

50歳以上・男性
高度飲酒・喫煙例
飲酒時に顔が赤くなる人・若い頃に赤くなった人
→アセトアルデヒド脱水素酵素の弱い活性型



胃癌の危険因子

生活習慣にかかわる胃癌の危険因子は、高塩食品(塩干魚、漬物などの塩蔵品)の摂取、野菜や果物の摂取不足、喫煙、多量飲酒、焼肉・焼魚の多食などが考えられ、近年の胃癌の減少には、冷蔵庫の普及にともなって塩蔵品摂取が減少したことが関与していると考えられています。また、ヘリコバクターピロリ菌の感染が胃癌に強く関連し、最近の研究では感染していない人に比べて感染者の胃癌リスクは約6倍高いと推定されています。

検診と早期癌

のど・食道・胃の粘膜に限局する癌は転移のないことが知られています。このような癌では癌を完全に切除すれば確実に治せる事が証明されており、このような癌を早期癌と呼んでいます。しかし早期癌は一般に小さく自覚症状はまずありません。早期癌を発見するためには皆さんが積極的に検診を受けて探しに行かなくてはなりません。一方で自覚症状が出るような癌は大きな進行癌であり、手術や放射線療法・抗がん剤の治療などの大きな負担を必要とする治療が必要となり、その治る確率も癌の進行とともにどんどん低くなってしまいます。

現状では癌を確実に直すには積極的に検診を受け、早期癌を発見し治療(内視鏡による癌の切除)する事が最も確実な方法となります。のど・食道・胃の早期癌は一般に小さく見つけにくい癌ですが、近年の内視鏡の進歩は特殊な光や顕微鏡の様に拡大観察を行えるようになり早期癌の発見に極めて有効になってきました。特に胃癌検診においては内視鏡検診が胃癌の早期発見・早期治療による死亡率減少効果を持つことが証明され、さらに胃癌検診内視鏡で食道癌も多数発見されていることが報告されています。

のど・食道・胃の早期癌は確実に治せる癌です。男性も女性も40歳以上は年に1回、胃癌検診内視鏡を受ける様にしましょう。特に前述した危険因子のある方は必ず検診を受けるべきと考えています。

(内視鏡センター所長 大森 泰)

紹介状をお持ちください

質の高い医療を行うことを目的として、国は医療機関の役割分担を進めており、それぞれの医療機関はその特徴に応じて、近隣の医療機関と連携して医療に当たっています。

地域の「かかりつけ医」は、日常的な医療や健康管理等を行っております。

一方、井田病院は、地域の中核病院として、急性期の医療（重症な方に必要な検査・手術・入院など）を提供する役割を担っています。

井田病院におかかりになる際に、かかりつけ医等による「紹介状」をご持参いただくと、様々な利点があります。そのため、井田病院では、当院にかかる患者さまに「かかりつけ医」からの紹介状を持参していただくことをお願いしております。

なにとぞ御理解をお願いいたします。



<紹介状をご持参していただくことによる利点>

◎日常的な医療や健康管理等は身近な「かかりつけ医」で行い、緊急性の高い検査・手術・入院・高度な治療は井田病院で行うことにより、いわば「ふたりの主治医」を持つこととなります。

◎「かかりつけ医」と井田病院が患者さまの診療情報を共有することができます。

◎初診にかかる選定療養費 2,160 円が不要となります。

◎紹介状をお持ちの患者さまは、当院にはじめておかかりになる場合でも「かかりつけ医」からだけでなく、患者さまご自身による当院への診療の予約が可能です。これにより、待ち時間を短くすることができます。

(地域医療部)

インフルエンザワクチン外来のお知らせ

冬季はインフルエンザが流行する季節になります。流行期に備えワクチンの接種が重要です。当院では、インフルエンザワクチンを推奨し、専用外来を設けております。また、今期からインフルエンザワクチンに含まれる流行株が3種類から4種類に増加します。これに伴い接種費用が変更となります。

《インフルエンザワクチン外来》

◎ 受付：月曜日から金曜日 午後1時～午後1時30分、2番受付で実施

※当日受付のみ、予約は行っておりません。

◎ 接種時間：午後1時30分～午後2時

《ワクチン費用》

◎ 川崎市高齢者助成制度を利用の方：2,300円

◎ 一般接種希望の方：4,920円（税込）



(感染対策室)

糖尿病のお話

～糖尿病治療新薬あれこれ！～

糖尿病有病者の割合は、男性の6人に1人、女性の11人に1人と増加傾向にあり、50歳以降にその割合が増加します。

糖尿病とは、インスリンという血糖を下げるホルモンの分泌が低下したり、インスリンの作用が不十分であるために血糖値が高くなる病気です。血糖が高い状態が長く続くと、神経、眼、腎臓や、心臓、脳などの血管に合併症が忍びよってきます。糖尿病は**自覚症状に乏しく**、症状が出現した頃には合併症が非常に進行していることが多いのです。**糖尿病の治療の目的はこれらの合併症を予防して、健康な状態を保つこと**にあります。

糖尿病の治療法には**食事療法**、**運動療法**、**薬物療法**があります。なかでも食事療法は最も有効な治療法ですが、最も難しいのも食事療法です。食欲の秋、果物がおいしい季節、かく言う私も甘いもの好きで、つい誘惑に負けて手が伸びてしまうことも…話が逸れました(笑)。

しかし、**どのような新薬が発売されてもやはり食事療法があつての薬物療法**です。



糖尿病にもいくつかのタイプがありますが、多くは2型糖尿病です。様々な薬が使えるようになり、日本の糖尿病患者さんのHbA1c(過去1~2カ月間の血糖状態の値)は年々低下していますが、一方で体重は増加しています。

糖尿病治療薬は年を追って新薬が登場し、約5年前には**インクレチン製剤**、昨年は**SGLT2阻害剤**が発売されました。いずれもSU薬やインスリン注射などとの併用でなければ、**低血糖をおこしにくく、体重を減らす作用を持つ**糖尿病治療薬です。



インクレチンは食事に応じて小腸から分泌されるホルモンで、血糖値が上昇した時のみインスリン分泌を促進して血糖を下降させます。さらに血糖を上昇させるグルカゴンというホルモンの分泌も抑制します。**インクレチン製剤**には経口剤(DPP-4阻害剤)と注射剤(GLP-1アナログ)があり、**特に注射剤には食欲を抑える効果もあります**。

糖尿病はその名の通り、尿から糖が検出される病気です。**SGLT2阻害剤**は、あえて尿中に糖をたくさん出させることによって血液中の余分な糖(血糖値)を下げる効果と、カロリーバランスを負にすることで体重を減らす作用が期待される薬です。

新しい薬の選択肢が増えたからこそ、**どの薬が最も良いかは患者さんによって異なります**。井田病院では患者さん一人一人にあった治療法を考え、サポート体制を整えています。その一環として、**糖尿病教育入院**では治療や合併症関連検査はもとより、**糖尿病の治療に必要な知識を習得いただけるよう、集団、及び個別できめ細かく指導を行っています**。また**外来でも糖尿病教室をご受講いただけます**。お気軽にご相談下さい。

(糖尿病内科 猪原 明子)

糖尿病患者会「火曜会」会員募集！

「火曜会」は井田病院の糖尿病患者さんの患者会です。年に2回の勉強会と食事会などの行事を行っています。入会すると、日本糖尿病協会が発行する糖尿病の月刊専門誌「さかえ」を購読できます。神奈川県糖尿病協会の主催の旅行やウォークラリー、食事勉強会のご案内もお送りします。入会をご希望の方は、食養科までお問い合わせください。年会費4800円になります。

世界糖尿病デーイベントのご案内 《予約不要・参加費無料》

世界糖尿病デーに併せて、イベントを開催します！

「お口の健康から糖尿病を改善しよう!!」をテーマに歯科口腔外科医の講演、糖尿病に関する展示、血糖測定、糖尿病用低カロリー食品の紹介・試食などを行います。皆様奮ってご参加ください。

◆開催日時：平成27年11月12日(木) 13時30分～16時

詳しい案内は準備が出来次第、院内にて配布いたします。



世界糖尿病デー

病院の取り組み

～がんボード～

がん＝がん
ボード＝会議、委員会

がんの治療には手術（根治・姑息）、放射線療法、薬物化学療法、緩和ケアなど様々なものがあり、複数の治療法を組み合わせで行われます。そのため、該当診療科だけの知識や経験だけでは必ずしも最良の医療を提供することができない状況があります。また、痛みのコントロール、食事、心理的ケア、退院後の療養生活、経済的問題など、がん患者さんのQOL（生活の質）を考慮した治療方針決定のためには、医師だけではなく、多職種での検討が必要です。



そこで、当院が設置しているのががんボードです。がんボードとは、がん患者さんの病気の進み具合や状態を、各診療科医師（担当診療科以外に腫瘍内科、放射線科、緩和ケア科、病理など）、放射線技師、薬剤師、看護師、栄養士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなどの多職種、さまざまな治療の専門家達が共有し、適切な治療法を提供できるように組織された病院内の検討会です。がん患者さんの疾患をがんボードで検討し、適切な治療法を選択しています。それをご本人・ご家族に掲示し、ご意向を含めて治療法を決定していくように取り組んでおります。



◎全てのがんにおいて開かれるの？

原発不明のがんや複数の臓器からがんが発生し診療部門をまたぐがん、心臓疾患、糖尿病などを併発している場合はもちろん、臓器によっては全ての新規患者さんを多職種で話し合っています。

◎どの段階で話し合うの？

当院ではいくつかの種類のがんボードを設置しており、最初の治療を話し合うがんボード、手術の病理学的評価をふまえて、次の治療を検討するがんボードなど、一人の患者さんに複数回行うこともしています。

◎井田病院の職員のみで話し合うの？

手術や化学療法などの治療を受けた後、かかりつけ医のもとで切れ目のないがん診療を受けることが出来るように、がん連携を組んでいるクリニックの医師と共に話し合うセミナーのがんボードも開催しています。



井田病院



診療計画
検査結果
治療経過



かかりつけ医

（がんボード委員長 玉川 英史）

基本理念

川崎市立井田病院は、自治体病院として、市民に信頼され、市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。

❖運営方針

1. 川崎市立井田病院は、公立病院として地域住民の医療の要望に応えます。
2. 地域の病院や診療所とのつながりを大切にします。
3. 成人疾患を中心とする専門性の高い医療を行います。
4. 呼吸器疾患（結核を含む）センター、消化器内視鏡センター、腎・泌尿器センターなどで進んだ医療を行います。
5. 地域におけるがん診療拠点病院としての役割を果たします。
6. かわさき総合ケアセンターでは、医療・福祉・保健が連携して、緩和ケアや在宅医療を行います。
7. 急に具合が悪くなった方のために、救急医療の体制を整えます。
8. 井田山の美しい自然環境を活かし、ボランティア活動を通じて、地域の医療と文化のより所となります。
9. 医療従事者のより良い研修の場となるように、職員各人が医療水準の向上に努めます。
10. 病院経営の健全化に努めます。

❖診療方針

1. 温かい心、やさしい手、確かな技術を提供します。
2. 患者さん中心のチーム医療をすすめます。

❖患者さまの権利と責任

川崎市立井田病院では、「市民から信頼され、安心してかかれる病院づくり」の理念のもとに、質の高い医療の提供とサービスの向上に努めています。

そこで、最善の医療を行うために、「患者さまの権利と責任」を明記し、その実現に向けて、皆さまとともに歩んで行きたいと思えます。

1. 患者さまは、川崎市立井田病院で公平かつ最良の医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、病院での診療結果、治療の方法、予想される危険性、医療費など診療内容について、十分な説明や診療情報の提供を受ける権利、すなわち知る権利があります。
3. 患者さまは、十分な説明を受けたうえで、ご自身の意思で治療法を選択してください。そのために、カルテを含む診療情報の開示やセカンド・オピニオン（別の医師または別の医療機関の意見）を求める権利があります。
4. 患者さまには、法により必要とされるものを除き、ご自身の情報を承諾なしに第三者に開示されない権利があります。
5. 医療は患者さまと医療提供者がお互いに信頼し合い、協力して行っていくものであり、患者さまに求められる次のような責任があります。
 - ア. ご自身の心身や生活の情報について、医療提供者に出来るだけ正確に知らせる責任があり、また、ご自身の病気や医療について十分に理解するように努力する責任があります。
 - イ. 他の患者さまが医療を受けるための妨げにならないよう、社会的なルールや病院内の規則に従い、病院職員の指示を守る義務があります。